

# BR#5

ホルムアルデヒド放散等級  
F☆☆☆☆  
NSK-1209024

「BR#5」は、ポルトランドセメント・無機質微細骨材・各種混和材料からなる粉体と、セメント混和用ポリマーディスパーションを主成分とする混和液を混合するポリマーセメント系の下地調整塗材です。  
建築物の内外装仕上工事における下地調整や防水処理が必要な床・屋上の下地調整として幅広く使用できます。

## 特長

### 01 こて塗り作業性が良好

こて塗り作業性が良く、むらの無い仕上がりができます。

### 02 優れた下地調整機能

接着性・耐衝撃性・耐ひび割れ性・耐久性に優れています。

### 03 取扱いが容易

保水性があり、延展性に優れています。

## 用途

- ・現場打ちコンクリート等への欠損部充填材との仲介接着
- ・現場打ちコンクリート等のピンホール、巣穴、ヘアクラックの補修
- ・ALCパネル・軽量コンクリート・ブロック・木毛セメント板等の多孔質下地の目つぶし、平滑化
- ・外壁改修工事の下地調整
- ・防水処理を必要とする床・屋上等の下地調整
- ・新築コンクリート床下地調整

## 適用下地

コンクリート・セメントモルタル・ALCパネル・コンクリートブロック 等

## ●標準施工仕様

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(hr)	所要量
下地調整	BR#5 主材: 20 kg 混和液: 2.2 kg 清水: 4~5 L	金こて	1~2	16以上 (工程内1以上) (20℃)	約 15 m <sup>2</sup> 約 1.5 kg/m <sup>2</sup> (1mm厚)
		単位容積質量	練り上り容量	塗厚	
		約 1.8 kg/L	約 15 L	0.5 ~ 2 mm	

(注) 上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。施工後の仕上材を施工するまでの塗装間隔時間は、水系仕上材の場合、16時間(23℃)以上、溶剤系仕上材の場合、72時間(23℃)以上として下さい。

## 荷 姿

主 材 NET 20kg/袋入  
混和液 NET 2.2kg/ポリ容器入

### 注 意 事 項 (無機系下地調整材)

#### 【施工上の注意事項】

- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分行ない、含水率10%以下、pH10以下で施工してください。
- 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。
- 夏期など、特に気温が高い場合や下地の吸い込みが著しい場合はドライアフトの原因となります。適当な水湿し、または下塗りを行ってください。
- 塗膜の乾燥硬化過程で水分の影響を受けた場合、(高湿度、結露、降雨等)塗膜表面に白華が発生する場合があります。施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上又は結露の発生が考えられるなど、水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。
- 外部の施工(降雨、降雪)のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 下地が弾性系塗膜の上には使用できません。
- 絶えず水分の影響を受ける場所への施工はしないでください。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度の上昇を防止してください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。
- 施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
- 施工面とその周辺(車や付帯設備を含む)や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
- 製品は空練りを行った後、練り混ぜを行ってください。
- 製品はミキサーでタマが壊れないように十分に練り混ぜてください。
- 練り水及び希釈水は必ず清水を使用してください。
- 練り混ぜ後、可使用時間以内に使い切ってください。また、可使用時間は温度、希釈によって変わりますので、練り混ぜ後はなるべく早く使い切ってください。
- 可使用時間の過ぎた材料を、練り直して再度使用しないでください。
- 練り直し、水を加えての練り直しはしないでください。
- 既設コンタイプに製品に現場で、セメント、砂等の指定材料以外を使用しないでください。
- 各種標準施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工してください。
- ローラー塗りの場合は、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、仕上がりが異なって見えることが有ります。

- 被塗物の形状、膜厚、塗回数、希釈量などの違いにより仕上材の仕上がりに影響を与える場合があります。試し塗りの上、本施工してください。
- 表面に白華が発生した場合はブラシ等により除去してから次工程の作業を行ってください。
- 使用後のコテ、刷毛やローラーは十分に洗浄してください。
- 下塗材等で溶剤形の製品を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 施工箇所が高湿である場合は、製品をできるだけ気温の低い所に保管し、あらかじめ冷却した水で練り混ぜてください。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスキングを行ってください。
- 直射日光下や屋外、0℃以下の保管はしないでください。
- 製品は、湿気に注意し、水かかりを避け、ハレットの上に置き、なるべく乾燥した屋内に保管してください。

#### 【安全衛生上の注意事項】

- 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート:旧MSDS)を参照してください。
- 取扱後は手洗い、うがいを十分に行ってください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒、防塵マスクなどを着用してください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 皮膚について場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けてください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- 火気、スパーク等の発火源があると、粉じん爆発の恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。
- 取り扱いは、粉じんがたないよう注意し、また、取り扱い後は密閉した容器に保管してください。
- 左の取手は専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり危険です。絶対に行わないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 塗料や塗料の付いた布などを処分する際は、法令に従い産業廃棄物として処理してください。
- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水、塗料の付いた布などはそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

取扱店



菊水化学工業株式会社

本社 名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル  
☎ 052-300-2222(代)

仙台支店 ☎ 022-706-5710

東京支店 ☎ 03-3981-2500

名古屋支店 ☎ 0568-69-5200

関西支店 ☎ 06-7668-5320

福岡支店 ☎ 092-935-4610



●ホームページアドレス <http://www.kikusui-chem.co.jp/>